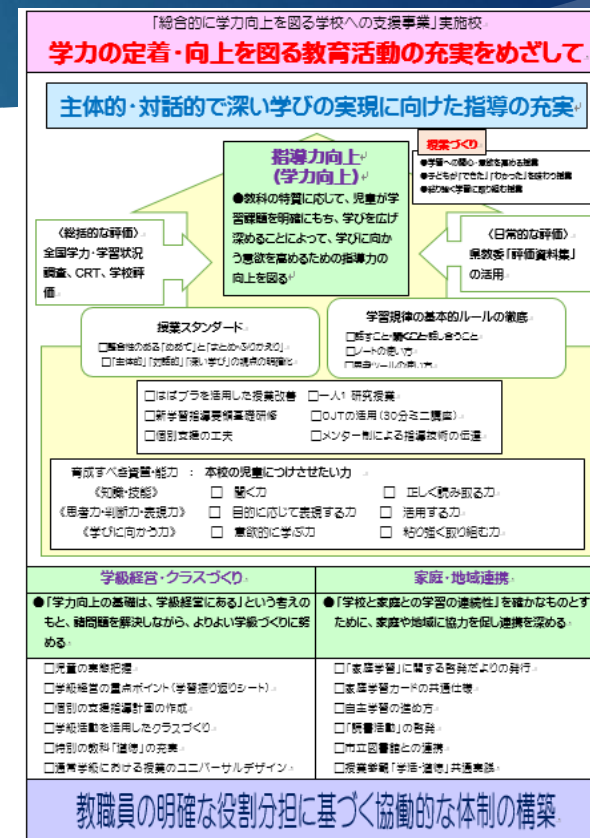




総合的に学力向上を図る学校への支援事業

取組内容

- 全国学力・学習調査、
学力テストの活用向上
- はばプラⅡを活用した授業づくり
- 校内研修体制の整備



はばプラⅡを活用した授業づくり

指導案形式の工夫



算数科学習指導案

単元名「小数のわり算」A数と計算(3) 小数の乗法、除法
(教科名「小数でわる計算を考えよう」)

主体的・対話的で深い学びの授業改善を目指して

①基礎的・技能 身に付けさせたい資質・能力

②理解・技能 小数の除法についての理解

③思考力・判断力・表現力等 身の回りの生活や学習の中から小数の除法の問題を見出し、その除法の意味や計算の仕方について筋道を立てて考える力

④知識・技能 小数の除法の意図や計算の仕方について筋道を立てて考える力

⑤思考力・判断力・表現力等 身の回りの生活や学習の中から小数の除法の問題を見出し、その除法の意味や計算の仕方について筋道を立てて考える力

⑥知識・技能 小数の除法についての理解

⑦知識・技能 (ア) 除数が小数の場合の除法の意味と計算の仕方を理解している。

⑧思考力・判断力・表現力 (イ) 既習の乗法や除法を基に、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を考えている。

【主体的に学習に取り組む態度 (ウ)】 除数が小数の場合の除法の計算の仕方を考えたり、その計算の仕方を活用して問題を解決したりしようとしている。

Ⅱ 本時の学習

<ねらい> 2mで80円、2.4mで96円のリボンでは、どちらが得だったかを考える買物の場面において、既習事項を基に96÷2.4の計算の仕方を考えだし合うことを通して、除数が小数の場合は除数の10倍の数96を基にすると整数の除法と同様に計算できることを理解する。

<原簿計画>

O/O	<問題> $86 \div 2.4$ (整数 ÷ 小数)
<あめて> どうすれば整数÷小数の計算の答え(商)がもとめやすくなるだろう?	<まとめ> 整数÷小数の商は、わる数を整数にしておくと求めやすくなる。
$96 \div 2.4 = 40$ $\times 10 \downarrow \times 10 \uparrow$ $960 \div 24 = 40$	<問題> $48 \div 1.6$
$96 \div 2.4 = 40$ $\times 10 \downarrow \times 10 \uparrow$ $960 \div 24 = 40$	$0 \quad 1 \quad 2.4 \quad 36 \text{ (m)}$ $0 \quad 30 \quad 48 \quad 960 \text{ (g)}$ $96 \times 10 = 960$
$m \quad 0.1 \quad 1 \quad 2.4$ $円 \quad 4 \quad 40 \quad 96$ $96 \div 2.4 = 40$	<振り返り> 整数÷小数の計算の仕方で大切なポイントは・・・ これから学習していきたいことは・・・

このことは、2mだと80円、2.4mだと96円!

<原簿>

学習活動	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。(5分) T: 前の時間で96÷2.4のように、わる数が小数でも整数と同じように、わり算で計算してよいでしたね。でも、すぐ計算できそうですか? S: わる数が小数だと難しそう。 S: 計算が面倒になりそう。	○「除数が小数である除法の計算の仕方を考える」という目的を確認できるように、前時の学習を振り返る。
<あめて> どうすれば整数÷小数の計算の答え(商)がもとめやすくなるだろう?	ポイント 児童が既習事項を基に、見出しをもつことができていますか。
2 96÷2.4の計算の仕方を考える。(10分) T: どんなやり方があるかな? S: 小数のかけ算のときに買ったことが使えるかも、 S: 式を工夫する。 S: 数直線や表を使って考える。	○追究する際に関心のある思考の道具を選択できるように、式や数直線、表など解決につながるものを問う。 ○自分なりに計算できない児童には、数直線や表を使った数直線カードや表カードを提示し、助算する。 ○自分なりに計算できた児童には、いろいろな計算の仕方が見出せるように、別の思考の道具を用いた計算の仕方はないか問いかける。
$96 \div 2.4 = 40$ $\times 10 \downarrow \times 10 \uparrow$ $960 \div 24 = 40$	ポイント めあてとまとめの整合性は図られているか。
$1 \quad 0.1 \quad 1 \quad 2.4$ $円 \quad 4 \quad 40 \quad 96$ $96 \div 2.4 = 40$	○他者の計算の仕方を進んで比較できるように、「分かりやすい」という視点を提示し、ペアで話し合うよう促す。
3 96÷2.4の計算の仕方を話し合う。(15分) T: この計算の中で「分かりやすい」のはどれ? S: 数直線をつかったもの。 T: おお、意見が分かれたね。では、どうしてそのやり方が「分かりやすい」のか話し合ってみよう。 S: ばくの数直線の考え方とわる数とわられる数を10倍した式の考え方は似ているかも。 S: 表の考え方は、0.1mの値段を求めてから10倍している。だから表の下の方を最後に10倍している。 S: どの計算も10倍すると小数が整数になるから「分かりやすい」のかも。	ポイント 児童にとって必要のある対話活動になっているか。
4 本時のまとめと振り返りをする。(15分) T: では、まとめてみましょう。	○対話活動(見取りの方) [0.1mや24mを基にした計算の仕方を記述したり、整理したりしている。(イ)] (ノート・原簿)
<まとめ> 整数÷小数の商は、わる数を整数にしておくと求めやすくなる。	○めあてに合ったまとめとなるよう児童の言葉を生かしていく。
T: では、まとめたことをもとに、P.68の1の問題にチャレンジしてみましょう。 S: わる数を整数にすればいいんだね。 S: 式は48÷1.6だから、わり算のきまりを使って、割られる数とわる数のそれぞれを10倍すると480÷16になるから、30gになる。 S: ばくは数直線を使って・・・ T: 既習できた人から、振り返りをしましょう。	○本時で学習したことを確認できるように、発展問題を提示する。
<振り返り> 整数÷小数の計算の仕方で大切なポイントは、わる数の小数を10倍すれば整数になって、答えがもとめやすくなること分かった。でも、数直線の考え方がまだよくわからないので、これから使えるようにしたい。	ポイント 振り返りの視点が示され、学びの意図が%されているか。

昨年度の校内研修では...

「主体的・対話的で深い学び」にするための授業づくりの基本

- 1 児童生徒にとっての単元及び題材の課題を設定する。
- 2 単元及び題材の課題の解決（目標への到達）に向け、各単位時間をつなげる。
- 3 多様な考え方に触れ、自分の学びを広げたり深めたりできるような対話的な場面をつくる。
- 4 主体的に学び、学んだことを次の学習に活用できるように、各単位時間での「めあて」の設定と「振り返り」の場面をつくる。

見通し

対話

めあてと振り返り

見通しとは...

見通し

- 単元の第1時や初めにおいて、課題解決に向けた追究意欲や学習計画、目標に到達した姿のイメージをもつ。
- 単元や1単位時間の課題に対し、既習事項等を基にししながら、解決に向けた学習方法や活動を明確にする。

対話とは...

対話

- ・ 他者の様々な見方や考え方に触れ、
「一人では気付けなかったことに着目する。」
「同じような意見を聞き、自分の考えに自信を持つ。」
「相手に説明することで、自分の考えをより明確化できる。」
というよさを生かし、「他者」と向き合う場面をつくる。

めあてと振り返りとは...

めあてと振り返り

- めあて→「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」をとらえる。
- 振り返り→「何を学んだか」「どのように学んだか」などを表出して、自分の学びを自覚する。

授業づくりをするときに...

見通し

対話

めあてと振り返り

これらを意識しながら、授業づくりや教材研究を
していきましょう！

すでに実践されているものを参考に...

はばたく群馬の指導プラン 実践事例集



算数科学習指導案

I 単 元 小数のわり算

II 考 察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性等

小数の除法のよさに気付き、小数の除法の計算の仕方を活用して、よりよく問題解決しようとする態度

①知識・技能

小数の除法についての理解

②思考力・判断力・表現力等

身の回りの生活や学習の中から小数の除法の問題を見出し、小数の除法の意味や計算の仕方を、筋道を立てて考える力

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

A数と計算（3）小数の乗法、除法

小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。
ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。

ウ 小数の乗法及び除法についても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。

(3) 本単元の学習と算数的活動の価値

本単元は、除数が小数である場合の除法の計算の仕方を考える学習である。その価値は以下のとおりである。

これまで学習してきた除数が整数の場合の除法は、1を1にするのイメージであり、2を2にするの

一歩進んだしかけづくりを...

評価資料集 算数work



- 本資料集に含まれている全てのコンテンツの著作権は、群馬県教育委員会に帰属します。
- 学校における教育目的以外または営利を目的としての使用・転載・複製・ネットワーク等を通じての掲載等は禁止されています。

思考力・判断力・表現力を高め、評価するために、
評価資料集を活用しましょう。

「活用できる学年」や「単元名等」を参考に活用
してください。
5年生ならば、5・6年で使用できます。

35043	5年生	「小数のわり算」	組 番 氏名
-------	-----	----------	--------

① 次の問題について考えます。

花子さんは、 $1.8 \div 9$ の計算について、小数を整数にしてから計算する方法があったことを思い出しました。

【花子さんが思い出した考え方】
< $1.8 \div 9$ の計算の仕方>

まず、1.8を10倍して、 $18 \div 9$ を計算します。
わられる数を10倍したので、 $18 \div 9$ の答えの2
を10でわれば、 $1.8 \div 9$ の答えになります。

$$\begin{array}{r} 1.8 \div 9 = 0.2 \\ \downarrow (\times 10) \quad \downarrow (\div 10) \\ 18 \div 9 = 2 \end{array}$$



自分の考えを表現したり、根拠を示したり、方法
を表したりする問題が多数あります。
各単元のまとめや宿題など、様々な場面で繰り返し
活用し、児童に思考力・判断力・表現力を高める
ことへの挑戦をさせてください。

テスト問題として活用し、
評価のための資料の1つと
することができます。

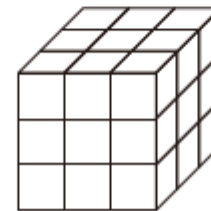
発展 ワークシート ⑤ 体積

問題 きまりを見つけて数えよう

名前
組 番

① 1辺1cmの立方体を積み重ねて、次の図のように1辺3cmの大きな
立方体をつくります。この立方体の全ての面を青くぬります。

この大きな立方体をばらばらにしたとき、●～④のような1辺1cm
の立方体はいくつありますか。



① どの面もぬられていない立方体

()個

② 1つの面がぬられている立方体


()個

③ 2つの面がぬられている立方体

()個

④ 3つの面がぬられている立方体

()個



主体的・対話的で深い学びに向け、
教師がまず主体的・対話的に
取り組んでみましょう。